

令和 6 年 3 月 18 日 メルボルン交流抄

「ビクトリア州立の英語・日本語バイリンガル小学校」

多文化を尊重するビクトリア州政府は外国語教育に力を入れています。

日本語もアニメや漫画の影響もあり、人気の語学となっています。多くの小学校で日本語が教えられています。驚くのは、そのうちの 2 校（ハンティングデール小学校、コーフィールド小学校）は日本語と英語の授業が 50 対 50 になっているバイリンガルの小学校だということです。いずれの小学校もメルボルン郊外、前者はモナシュ市、後者はコーフィールド市にあります。

先日、その内のハンティングデール小学校のハーモニーデーの行事を参観してきました。子供達が様々な民族衣装を着てパレードをしたり、楽器の演奏を行います。生徒たちは皆活き活きとして楽しそうに歌ったり、踊ったり。ビドル(Ms Ruth Biddle)校長先生によれば、この小学校を希望する生徒の数は増加していて、どちらかの親が日本人の場合のみならず、日本と関係ない両親が子供を通わせるケースも増えているそうです。生徒数は 410 人、先生も日豪半分各々 10 人ほどおられます。6 年生の二人のスクール・キャプテンは、上手な日本語で校内を案内してくれました。二人は日本語と英語の他に、それぞれ、インドネシア語と中国語、ペルシャ語とギリシャ語の 4ヶ国語を話すことができるそうです。

5、6 年生は今年 10 月に日本の姉妹校・名張市立蔵持小学校を訪ねることを目的に日本に行く計画があるそうです。皆さん、これからも日本語を勉強して、日豪の架け橋となってください。

最後に、学校訪問の 1 週間後に、この学校の地区選出の州議会議員(労働党)スティーブ・ディモプラス環境・スポーツ担当大臣にお会いする機会があり、ハンティングデール小学校を訪問したことを伝えると、自分もビドル校長はよく知っている、何度か行事に招かれて行ったが、非常にレベルの高い日英 50 対 50 のバイリンガルのすごい学校であり、地元の誇りである、州政府も引き続き支援していくと笑顔で応えられていました。彼は、2022(令和 4)年 3 月 1 日の交流抄にあるとおり天皇誕生日祝賀レセプションで州政府を代表して挨拶をしてくださった方で、それ以来懇意にしています。日本の大ファンであり、日本語教育の強力な支持者として、これからもハンティングデール小学校を盛り立てていてもらいたいです。

